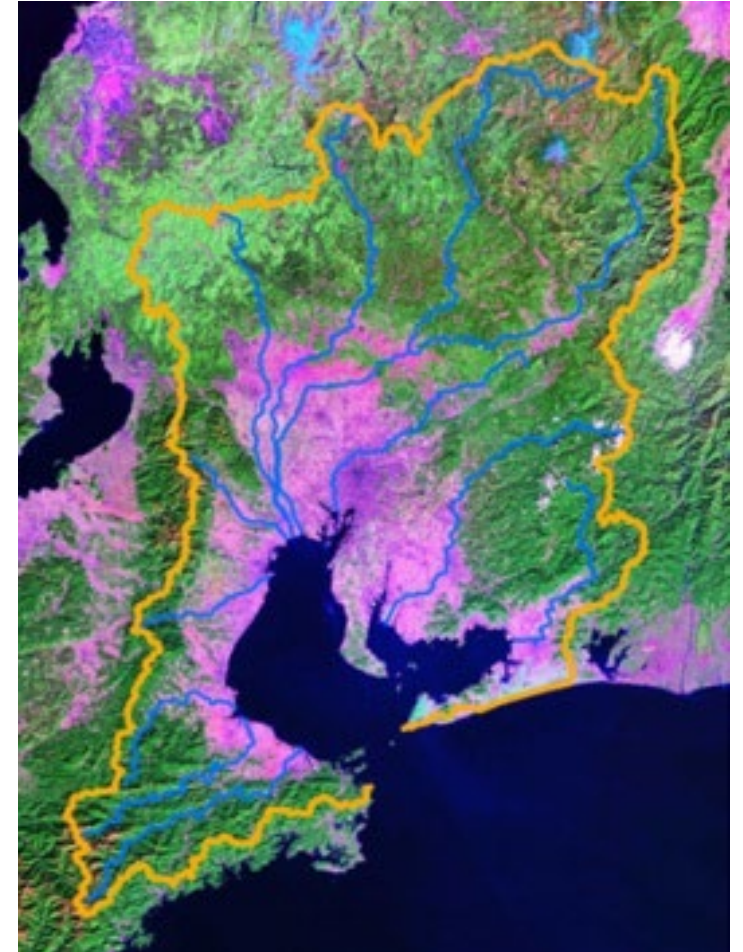


中部ESD拠点 (国連大学認定RCE : Regional Centre of Expertise on ESD)

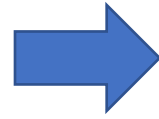
幹事機関・事務局 = 中部大学 (中部大学国際ESD・SDGsセンター内)

- 2007年に国連大学から「ESD地域拠点 (RCE)」認定を受ける
- 2008年1月に協議会を発足
- 活動対象地域は「伊勢・三河湾流域圏」 (愛知県・岐阜県・三重県をほぼカバー)
- 中部ESD拠点協議会 (2008年設立)
代表：福井弘道 (中部大学副学長)
共同代表：杉山直 (名古屋大学総長)
- 大学、行政、市民団代、経済団体など約80団体が加盟

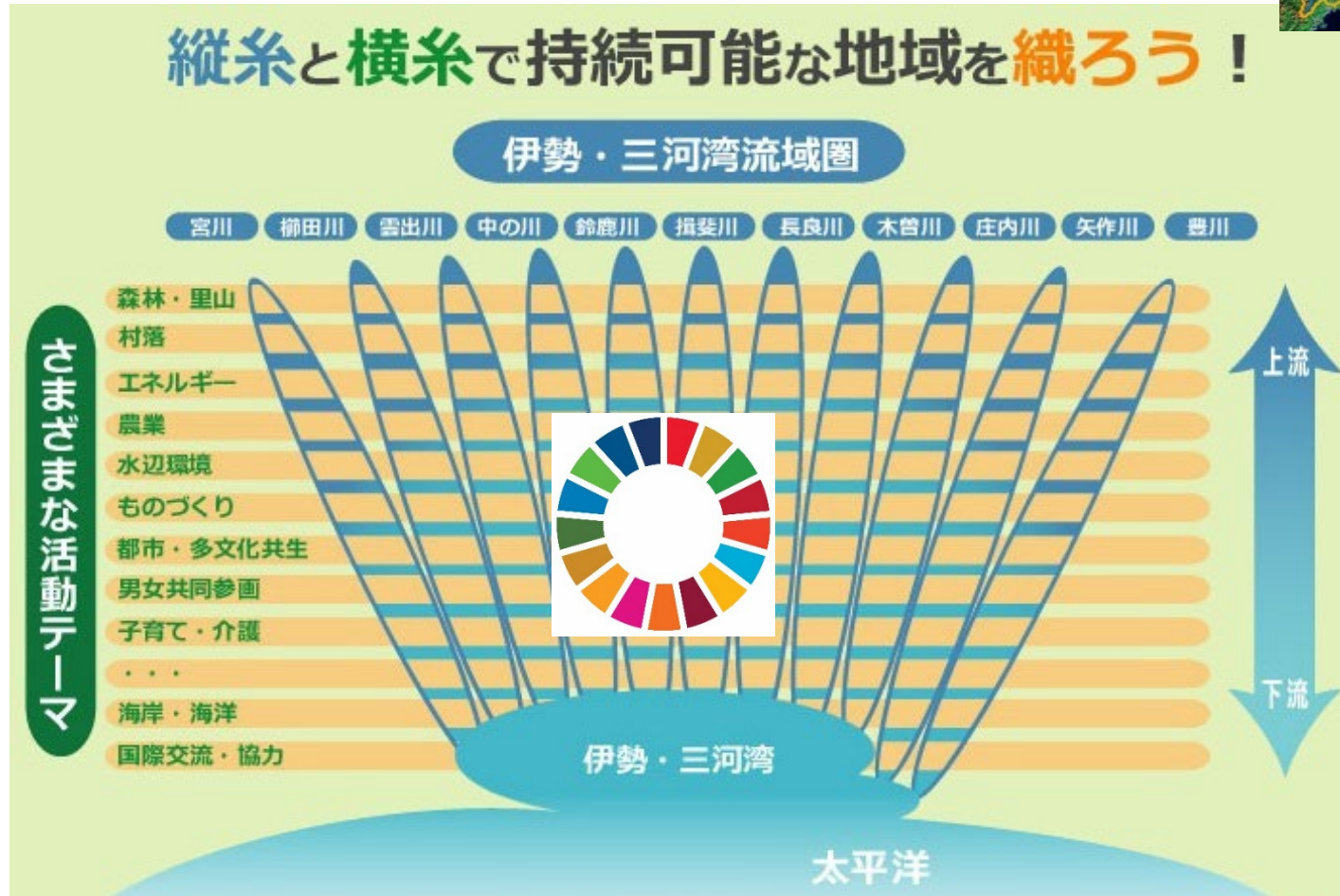
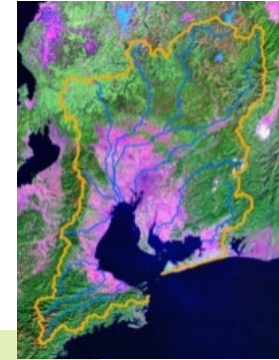


伊勢・三河湾流域圏の社会づくり

1. 地域課題の発見
2. 地域資源の発掘
3. 循環型社会の実現



流域圏思考による
サステナブルな地域づくり



中部ESD拠点の活動例

1. 若者リーダー育成

「中部サステナ政策塾」

広義のポリシーメーカーの育成を目的に9期目を迎えたサステナビリティに関する政策を学ぶ塾。地方議会議員、NPO職員、大学生、地方自治体職員など多彩な塾生が、持続可能性に関する有識者の講義やフィールドワークなどに参加している。

ESDの5つの優先行動分野の「ユース」に対応した活動として2016年に開塾（現在9期目）



2. 生物文化多様性プロジェクト

「日本の祭りとSDGs」

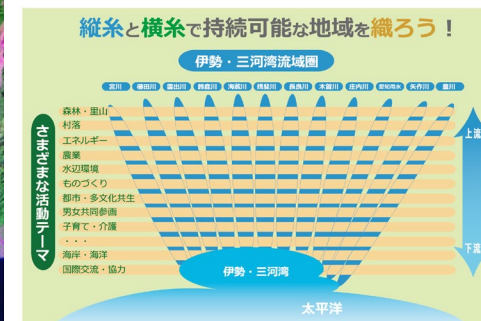
文化多様性と生物多様性を同時に学ぶワークショップを連続開催中。トヨタ環境活動助成およびCBC（中部日本放送）の支援を受けて「生物文化多様性（Bio-cultural Diversity）」に焦点を当てたESD活動を実施している。

「あいち・なごや宣言」の「地域と伝統的な知識（パラ10）」に対応したESD活動



「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」プロジェクト

- 2025年大阪・関西万博に向けた愛知万博の理念継承活動
- 共催：イベント学会、地球産業文化研究所（GISPRI）
- 水と流域PJ推進事務局＝中部ESD拠点事務局



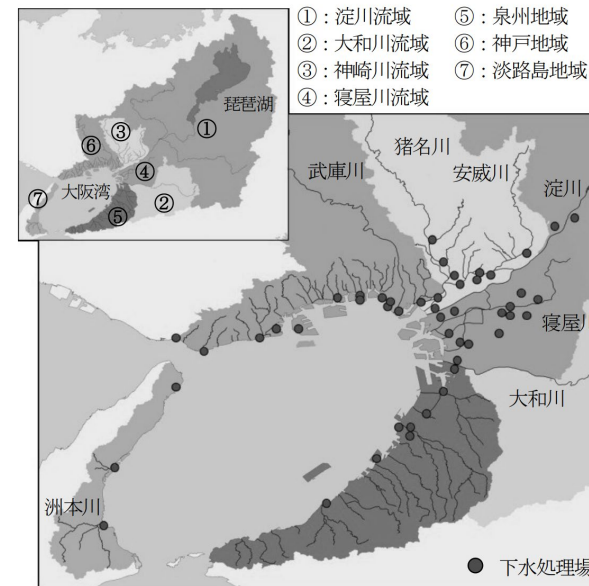
出典：「伊勢・三河湾流域圏ESDモデル」中部ESD拠点協議会（2014）

① 愛知フォーラム：伊勢・三河湾流域圏
（主要12河川流域） ※2022年度

② 大阪フォーラム：大阪湾流域圏
（琵琶湖・淀川水系を含む7流域圏）
※2023年度

③ 東京フォーラム：東京湾流域圏
＋全国の流域圏（活動） ※2024年度

④ 国際フォーラム：大阪・関西万博
※2025年



大阪湾流域の区分（①～⑦）と下流部の算定対象河川・下水処理場の位置

出典：「大阪湾流域における栄養塩負荷の変遷と現況調査」西田修三、他（2012）